



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 リスクモンスター株式会社

コード番号 3768 URL <http://www.riskmonster.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤本 太一

問合せ先責任者 (役職名) 内部監査室室長

(氏名) 寺部 達朗

TEL 03-6214-0331

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,236	0.1	130	11.9	137	14.3	76	36.1
25年3月期第2四半期	1,235	△1.5	116	6.1	120	8.2	56	△9.8

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 58百万円 (4.4%) 25年3月期第2四半期 56百万円 (40.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	19.44	19.35
25年3月期第2四半期	14.43	—

(注)当社は、平成24年10月1日付で1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	3,937	3,551	89.1	886.73
25年3月期	3,872	3,493	89.1	885.47

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 3,507百万円 25年3月期 3,450百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	8.50	8.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,600	6.9	250	1.2	255	1.0	132	0.2	33.37

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	4,096,700 株	25年3月期	4,038,300 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	141,400 株	25年3月期	141,400 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	3,936,152 株	25年3月期2Q	3,896,900 株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 当社は、平成24年10月1日付で1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
4. 補足情報	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府による金融財政対策や成長戦略に対する期待感から円安・株高傾向が継続し、景況感や消費マインドについても東京オリンピックの開催決定など明るい兆しが見えてきました。一方、新興国経済の成長鈍化や欧州経済の低迷など不安材料が払拭されないことから、景気の先行きは依然予断を許さない状況が続いております。当社グループを取り巻く経営環境といたしましては、景気回復への期待感を背景に企業収益が緩やかに回復しつつあるものの、依然として企業全般における経費削減傾向が続いている事業環境となりました。

こうした状況の下、当社グループは、3ヶ年計画「第3次中期経営計画(2011～2013年度)」の基本方針に沿い、以下のような取り組みを実施いたしました。

- ・顧客毎の様々なニーズに合わせてカスタマイズできる与信管理クラウドサービス「プレミアムパック」をリリース(4月)
- ・中小企業金融円滑化法期限切れとアベノミクスによる景気の変動に対応し、「RM格付」の格付ロジックを改訂(5月)
- ・企業情報簡易レポートサービス「よくばりPDF」を改訂(6月)
- ・独自評価指標算出システム「社内格付システム」をリリース(7月)
- ・取引先全体分析サービス「ポートフォリオサービス」を改訂(8月)
- ・連結子会社リスモン・マッスル・データグループが「破産配当金データ作成アウトソーシング」を提供開始(8月)
- ・与信管理関連書籍第4弾として「与信管理奮闘日記」を出版(9月)
- ・スマートフォンアプリ「倒産度チェック」をリリース(9月)
- ・九州営業所を開設(10月営業開始)
- ・当第2半期連結累計期間に発表したリスモン調べ
 - 「世界に誇れる日本企業」アンケート調査結果(4月)
 - 「独創性を感じる日本企業」アンケート調査結果(5月)
 - 「金持ち企業ランキング」調査結果(6月)
 - 「長生き企業ランキング」調査結果(8月)
 - 「環境への配慮が感じられる企業ランキング」調査結果(9月)
 - 「九州・沖縄長生き企業ランキング」調査(9月)

その結果、売上高につきましては、BPOサービス等の売上高が落ち込んだものの、主力である与信管理サービス等及びビジネスポータルサイト(グループウェアサービス等)が堅調に推移し、当第2四半期連結累計期間の売上高はほぼ前年同期並みの1,236,886千円(前年同期比100.1%)となりました。

利益につきましては、各セグメントの中で利益率が高いASP・クラウドサービスが堅調に推移したこと等により、営業利益は130,126千円(前年同期比111.9%)、経常利益は137,258千円(前年同期比114.3%)、四半期純利益は76,530千円(前年同期比136.1%)となりました。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)		前年同期比 (%)
	対売上比 (%)	対売上比 (%)	対売上比 (%)	対売上比 (%)	
売上高(千円)	1,235,695	100.0	1,236,886	100.0	100.1
営業利益(千円)	116,337	9.4	130,126	10.5	111.9
経常利益(千円)	120,132	9.7	137,258	11.1	114.3
四半期純利益(千円)	56,248	4.6	76,530	6.2	136.1

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

① セグメント別の業績について

セグメント別の売上高につきましては、セグメント間取引消去前の売上高で記載しております。

ア) 与信管理サービス等について

当第2四半期連結累計期間の与信管理サービス等の売上高の合計は768,319千円（前年同期比102.0%）、セグメント利益は75,508千円（前年同期比94.7%）となりました。

ASP・クラウドサービスの売上高はほぼ前年同期並みだったものの、コンサルティングサービスの売上高が好調で、与信管理サービス等全体では売上高が前年同期を上回りました。一方、セグメント利益につきましては、目標を達成するための施策実行や九州営業所の立ち上げなど先行投資により前年同期を下回りました。

与信管理サービス等の売上高をサービス分野別に示すと、次のとおりであります。

セグメント	サービス分野別	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	前年同期比 (%)	
与信管理サービス等	ASP・クラウドサービス (千円) (注) 2	644,610	100.7	
	コンサルティングサービス	ポートフォリオサービス及びマーケティングサービス (千円)	89,724	113.1
		その他 (千円) (注) 3	33,984	100.2
		コンサルティングサービス売上高合計 (千円)	123,708	109.2
	与信管理サービス等売上高合計 (千円)	768,319	102.0	

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. 当社が独自に開発したシステム「RM2 Navi System」を利用して、企業信用情報提供会社の有する約260万社の企業情報の信用力を定量化し、インターネット経由で与信情報を提供するサービス
3. 「金融サービス」等を含むその他サービス

i) ASP・クラウドサービス

サービス単価の高い一部サービスの利用件数が低調だったものの、単価の低いサービスの利用が好調だったこと等に伴い、与信管理サービス等のASP・クラウドサービスの売上高はほぼ前年同期並みの644,610千円（前年同期比100.7%）となりました。

与信管理サービス等の会員数の推移（累計）は、次のとおりであります。

回次	第12期	第13期	当第2四半期
決算年月	平成24年3月	平成25年3月	平成25年9月
会員数 (注)	4,400	4,720	4,770
(内、提携会員数)	(1,404)	(1,690)	(1,708)

(注) インターネット等を介して与信管理サービスを利用できる会員及び提携先とのサービス相互提携を行う提携会員の合計

ii) コンサルティングサービス

ポートフォリオサービスの受注件数が増加したこと等に伴い、ポートフォリオサービス及びマーケティングサービスの売上高は89,724千円（前年同期比113.1%）となりました。また、金融サービス等を含むその他の売上高が33,984千円（前年同期比100.2%）となり、コンサルティングサービスの売上高の合計は123,708千円（前年同期比109.2%）となりました。

イ) ビジネスポータルサイト (グループウェアサービス等) について

当第2四半期連結累計期間のビジネスポータルサイト (グループウェアサービス等) の売上高の合計は269,796千円 (前年同期比102.3%)、セグメント利益は74,908千円 (前年同期比127.9%) となりました。

会員数は減少しているもののディスク容量の利用が堅調に推移し、ASP・クラウドサービスの売上高の増加とセグメント利益に寄与いたしました。

ビジネスポータルサイト (グループウェアサービス等) の売上高をサービス分野別に示すと、次のとおりであります。

セグメント	サービス分野別	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	前年同期比 (%)
ビジネスポータル サイト (グループ ウェアサービス 等)	ASP・クラウドサービス (千円) (注) 2	241,434	103.2
	その他 (千円) (注) 3	28,361	94.8
	ビジネスポータルサイト (グループウェアサービス等) 売上高合計 (千円)	269,796	102.3

- (注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。
 2. インターネットを活用したグループウェアを中心として提供する中堅・中小企業向けビジネスポータルサイト「J-MOTTO (ジェイモット)」を利用できる会員向けサービス
 3. ホスティングサービス等を含むその他サービス

また、ビジネスポータルサイトの会員数及びユーザー数の推移 (累計) は次のとおりであります。

回次	第12期	第13期	当第2四半期
決算年月	平成24年3月	平成25年3月	平成25年9月
会員数 (ID数)	3,788	3,564	3,471
ユーザー数	130,215	128,278	128,175

- (注) インターネットを活用したグループウェアを中心として提供する中堅・中小企業向けビジネスポータルサイト「J-MOTTO (ジェイモット)」を利用できる会員及びユーザー数

ウ) BPOサービスについて

当第2四半期連結累計期間のデジタルデータ化サービス等を中心としたBPOサービスの売上高の合計は154,527千円 (前年同期比75.1%)、セグメント損失は7,133千円 (前年同期はセグメント損失8,422千円) となりました。

主力のデジタルデータ化等BPOサービスが低調だったことや、前期に一部の売上高をその他のセグメントに移管したこと、労働者派遣法の改正に対応したこと等に伴い売上高が前年同期に比べ減少いたしました。また、グループの事務処理集中センターとしてコストセンター部門の費用を負担しているものの、国内処理センターの集約等の効果でセグメント損失が減少しました。

BPOサービスの売上高をサービス分野別に示すと、次のとおりであります。

セグメント	サービス分野別	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	前年同期比 (%)
BPOサービス (注) 2	デジタルデータ化等BPOサービス (千円)	154,527	75.1

- (注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。
 2. ビジネス・プロセス・アウトソーシング (BPO) サービス

エ) その他サービスについて

当第2四半期連結累計期間の教育関連事業等を含むその他の売上高は80,590千円(前年同期比136.2%)、セグメント損失は9,735千円(前年同期はセグメント損失12,589千円)となりました。

当第2四半期連結累計期間の教育関連事業は、売上高が増加したことや業務フローの共通化を進めた結果、前年同期に比べ改善したものの、固定費の回収までは至らずセグメント損失となりました。また、定額制の新社員研修サービス「サイバックスU n i v .」を利用できる会員は553会員となりました。

なお、昨年9月に設立した利墨(上海)商務信息咨询有限公司(リスクモンスターチャイナ)が運営する中国におけるポータル事業等の会員数は814会員となりました。

その他のセグメントの売上高をサービス分野別に示すと、次のとおりであります。

セグメント	サービス分野別	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	前年同期比 (%)
その他	「教育関連事業」等を含むその他サービス(千円)	80,590	136.2

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

② 会員数について

当第2四半期連結会計期間末の会員数は、与信管理サービス等が4,770会員、ビジネスポータルサイトが3,471会員、その他会員が1,367会員、合計9,608会員となりました。会員数の推移(累計)を示すと、次のとおりであります。

回次	第10期	第11期	第12期	第13期	当第2 四半期
決算年月	平成22年 3月	平成23年 3月	平成24年 3月	平成25年 3月	平成25年 9月
与信管理サービス等(注)1	3,043	3,488	4,400	4,720	4,770
ビジネスポータルサイト (グループウェアサービス等)(注)2	4,214	3,955	3,788	3,564	3,471
その他(注)3	—	—	—	563	1,367
会員数合計	7,257	7,443	8,188	8,847	9,608

(注) 1. インターネット等を介して与信管理サービスを利用できる会員及び提携先とのサービス相互提携を行う提携会員の合計

2. インターネットを活用したグループウェアを中心として提供する中堅・中小企業向けビジネスポータルサイト「J-MOTTO(ジェイモット)」を利用できる会員

3. 定額制の新社員研修サービス「サイバックスU n i v .」または中国におけるグループウェアサービス等を利用できる会員

4. 会員数は当社に登録されているID数

なお、上記においては重複登録している会員が一部おります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末と比べ157,014千円増加し、2,804,687千円となりました。これは主に、投資有価証券の売却等により現金及び預金が増加したことや売掛金が増加したことによるものです。固定資産は前連結会計年度末と比べ92,507千円減少し、1,132,382千円となりました。これは主に、投資有価証券の売却及び時価評価によるものです。その結果、資産合計は前連結会計年度末と比べ64,507千円増加し、3,937,069千円となりました。

流動負債は前連結会計年度末と比べ19,325千円増加し339,887千円、固定負債は13,042千円減少し45,617千円となりました。その結果、負債合計は前連結会計年度末と比べ6,283千円増加し、385,505千円となりました。

純資産は、四半期純利益を計上したこと等により前連結会計年度と比べ58,223千円増加し、3,551,564千円となりました。また、自己資本比率は89.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

「第3次中期経営計画(2011～2013年度)」の最終年度である当連結会計年度の通期の業績見通しといたしましては、売上高2,600百万円(前年同期比106.9%)、営業利益250百万円(前年同期比101.2%)、経常利益255百万円(前年同期比101.0%)、当期純利益132百万円(前年同期比100.2%)を予定しております。

業績予想に対する当第2四半期連結累計期間の進捗につきましては、売上高はほぼ当初の予定どおり、利益は順調に進捗しております。

中期経営計画に掲げた売上高増加及び収益構造の改善のための施策を実施することで、当初の業績予想を達成すべくグループ一丸となって邁進してまいり所存です。

現時点におきましては、通期の連結業績予想の変更はございません。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期(四半期) 純利益
平成26年3月期予想	2,600	250	255	132
平成25年9月第2四半期実績	1,236	130	137	76
進捗率(%)	47.6	52.1	53.8	58.0

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,185,091	2,295,542
受取手形及び売掛金	315,517	346,557
有価証券	99,995	99,995
原材料及び貯蔵品	5,012	5,777
その他	44,332	58,327
貸倒引当金	△2,276	△1,511
流動資産合計	2,647,672	2,804,687
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	81,409	81,739
減価償却累計額	△34,566	△38,271
建物及び構築物（純額）	46,843	43,468
工具、器具及び備品	418,444	437,190
減価償却累計額	△347,135	△363,168
工具、器具及び備品（純額）	71,308	74,022
リース資産	6,195	6,195
減価償却累計額	△4,742	△5,078
リース資産（純額）	1,453	1,117
建設仮勘定	1,025	456
有形固定資産合計	120,630	119,063
無形固定資産		
のれん	1,834	611
ソフトウェア	478,531	487,697
その他	35,046	34,455
無形固定資産合計	515,413	522,763
投資その他の資産		
投資有価証券	446,045	347,662
その他	142,952	143,027
貸倒引当金	△152	△135
投資その他の資産合計	588,846	490,554
固定資産合計	1,224,889	1,132,382
資産合計	3,872,562	3,937,069

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
未払金	158,951	180,402
未払法人税等	76,205	64,910
賞与引当金	1,187	1,250
その他	84,216	93,324
流動負債合計	320,562	339,887
固定負債		
退職給付引当金	9,719	10,038
その他	48,940	35,579
固定負債合計	58,659	45,617
負債合計	379,221	385,505
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,107,428	1,123,559
資本剰余金	1,308,089	1,324,220
利益剰余金	1,007,158	1,052,514
自己株式	△68,700	△68,700
株主資本合計	3,353,975	3,431,594
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	88,534	65,471
為替換算調整勘定	8,062	10,229
その他の包括利益累計額合計	96,597	75,700
新株予約権	3,001	1,646
少数株主持分	39,766	42,622
純資産合計	3,493,340	3,551,564
負債純資産合計	3,872,562	3,937,069

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	1,235,695	1,236,886
売上原価	574,672	550,765
売上総利益	661,022	686,121
販売費及び一般管理費	544,684	555,995
営業利益	116,337	130,126
営業外収益		
受取利息	1,345	423
受取配当金	3,877	4,362
投資事業組合運用益	—	3,020
その他	145	21
営業外収益合計	5,368	7,827
営業外費用		
支払利息	133	57
投資事業組合運用損	1,308	—
株式交付費	—	266
為替差損	6	372
その他	124	—
営業外費用合計	1,573	695
経常利益	120,132	137,258
特別利益		
投資有価証券売却益	—	6,046
新株予約権戻入益	9	184
特別利益合計	9	6,230
特別損失		
投資有価証券売却損	—	242
減損損失	3,495	—
固定資産除却損	406	90
特別損失合計	3,901	333
税金等調整前四半期純利益	116,240	143,155
法人税、住民税及び事業税	63,193	61,407
法人税等調整額	△3,301	3,069
法人税等合計	59,891	64,476
少数株主損益調整前四半期純利益	56,348	78,678
少数株主利益	100	2,147
四半期純利益	56,248	76,530

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	56,348	78,678
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△344	△23,038
為替換算調整勘定	27	2,850
その他の包括利益合計	△316	△20,187
四半期包括利益	56,031	58,490
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	55,940	55,633
少数株主に係る四半期包括利益	91	2,856

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	与信管理 サービス等	ビジネスポータル サイト(グル ープウェアサ ービス等)	BPO サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	752,966	263,368	167,632	1,183,967	51,727	1,235,695	—	1,235,695
セグメント間の内部 売上高又は振替高	294	396	38,009	38,700	7,432	46,132	△46,132	—
計	753,261	263,764	205,642	1,222,668	59,159	1,281,828	△46,132	1,235,695
セグメント利益又は 損失(△)	79,739	58,577	△8,422	129,893	△12,589	117,304	△966	116,337

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教育関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「BPOサービス」において、国内事務処理センターの移転計画に伴い、今後の使用の見通しが無い建物について減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては3,495千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	与信管理 サービス等	ビジネスポータル サイト(グル ープウェアサ ービス等)	BPO サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	767,910	269,402	142,267	1,179,580	57,305	1,236,886	—	1,236,886
セグメント間の内部 売上高又は振替高	408	393	12,259	13,061	23,284	36,346	△36,346	—
計	768,319	269,796	154,527	1,192,642	80,590	1,273,233	△36,346	1,236,886
セグメント利益又は 損失(△)	75,508	74,908	△7,133	143,283	△9,735	133,547	△3,421	130,126

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教育関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

要約連結キャッシュ・フロー

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー ※1	196,802	169,736
投資活動によるキャッシュ・フロー ※2	△201,873	△60,977
財務活動によるキャッシュ・フロー ※3	△34,298	△307
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	1,920
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△39,369	110,370
現金及び現金同等物の期首残高	2,014,344	2,184,456
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,974,974	2,294,827

前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
主要な費目及び金額は次のとおりであります。 ※1 税金等調整前四半期純利益 116,240 減価償却費 134,402 法人税等の支払額 △45,184 ※2 有形固定資産の取得による支出 △32,619 無形固定資産の取得による支出 △95,922 投資有価証券の取得による支出 △75,742 ※3 長期借入金の返済による支出 △4,998 配当金の支払額 △28,700	主要な費目及び金額は次のとおりであります。 ※1 税金等調整前四半期純利益 143,155 減価償却費 126,541 法人税等の支払額 △70,392 ※2 有形固定資産の取得による支出 △18,484 無形固定資産の取得による支出 △111,321 投資有価証券の売却による収入 65,253 ※3 配当金の支払額 △30,797 株式発行による収入 30,827